

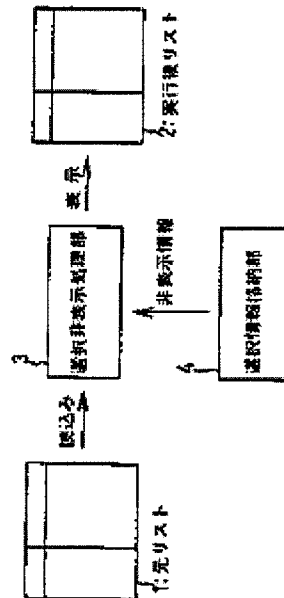
# LIST IMAGE PLANE PARTIAL DISPLAY SYSTEM

**Publication number:** JP2245924  
**Publication date:** 1990-10-01  
**Inventor:** KAMIMURA MARIKO; SHIMADA HIROSHI  
**Applicant:** FUJITSU LTD  
**Classification:**  
**- international:** G06F3/12; G06F3/12; (IPC1-7): G06F3/12  
**- European:**  
**Application number:** JP19890067907 19890320  
**Priority number(s):** JP19890067907 19890320

Report a data error here

## Abstract of JP2245924

**PURPOSE:** To extract and display a desired list in a screen by writing a list, obtained by excluding columns and rows which are specified not to be displayed, from an original list in a buffer. **CONSTITUTION:** For example, the original list 1 is read out of a data base and displayed on the screen and row and column information specifying the rows and columns which are not to be displayed is stored in a selection information storage part 4. Then a selective nondisplay processing part 3 writes the after-execution list 2 after the corresponding rows and columns are removed from the original list 1 in the buffer according to the row and column information on nondisplay read out of the selection information storage part 4. Thus, the rows and columns not to be displayed are specified in the original list 1 and the list after the rows and columns are removed is extracted and displayed as the after-execution list 2 on the screen automatically.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

## ⑫ 公開特許公報(A) 平2-245924

⑤Int.Cl.<sup>5</sup>

G 06 F 3/12

識別記号

F

庁内整理番号

8323-5B

④公開 平成2年(1990)10月1日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑥発明の名称 リスト画面部分表示方式

②特 願 平1-67907

②出 願 平1(1989)3月20日

⑦発 明 者 上 村 真 理 子 神奈川県川崎市多摩区菅2丁目13番24号 メゾン中沢205  
⑦発 明 者 島 田 洋 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社  
⑦出 願 人 富 士 通 株 式 会 社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
⑦代 理 人 弁 理 士 岡 田 守 弘

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

リスト画面部分表示方式

## 2. 特許請求の範囲

リスト画面の所望の部分を表示するリスト画面  
部分表示方式において、

画面上の元リスト(1)のうちの非表示にする行お  
よび列を指定したことに対応して、非表示指定し  
た行および列を除いたリストをバッファに書き込  
む選択非表示処理部(3)を備え、

この選択非表示処理部(3)によってバッファに書  
き込まれた後のリストを画面上に抜粋する態様で  
表示するように構成したことを特徴とするリスト  
画面部分表示方式。

## 3. 発明の詳細な説明

(概要)

リスト画面の所望の部分を表示するリスト画面

部分表示方式に関し、

画面に納まりきらない大きなリストから見たい  
部分のみを簡単な操作によって抜粋する態様で表  
示する機能を提供することを目的とし、

画面上の元リストのうちの非表示にする行およ  
び列を指定したことに対応して、非表示指定した  
行および列を除いたリストをバッファに書き込む  
選択非表示処理部を備え、この選択非表示処理部  
によってバッファに書き込まれた後のリストを画  
面上に抜粋する態様で表示するように構成する。

(産業上の利用分野)

本発明は、リスト画面の所望の部分を表示する  
リスト画面部分表示方式に関するものである。リ  
スト処理は、項目別に表形式になっているのでデ  
ータをまとめ易い。このことから大きなデータを  
扱うのが一般的となっている。しかし、大きなデ  
ータを扱うため、処理したい項目が画面に納まり  
きらないことが多く、 unnecessary 部分を非表示にし  
て、必要な情報のみを表示する機能が望まれてい

る。

〔従来の技術と発明が解決しようとする課題〕

従来のリスト画面上で所望の部分を表示する場合、検索／選択コマンドを用いて必要な情報の行／列を計算式を用いて主画面とは別に作成し、表示するようにしていた。このため、表示するためにのみ、必要な部分を抜き出した別のリストを作成することとなり、操作および処理が煩雑となってしまうという問題があった。

本発明は、大きなリストから見たい部分のみを簡単な操作によって抜粋する態様で表示する機能を提供することを目的としている。

〔課題を解決する手段〕

第1図を参照して課題を解決する手段を説明する。

第1図において、元リスト1は、データベースから読み込まれたリストである。

実行後リスト2は、非表示として指定した行・

が実行後リスト2として画面上に抜粋する態様で表示することが可能となる。

〔実施例〕

次に、第1図から第4図を用いて本発明の1実施例の構成および動作を順次詳細に説明する。

第1図において、元リスト1は、データベースから読み出して画面非表示を行なおうとするリストであって、情報全体を表示する例えば第3図(イ)に示すリストである。

実行後リスト2は、元リスト1の不必要な行・列を非表示にしたリストであって、例えば第3図(ロ)に示すリストである。

選択非表示処理部3は、データベースから読み出した元リスト1と、選択情報格納部4から取り出した非表示行・列情報とをもとに、非表示の行・列を除いた実際に表示する項目のみに編集するものである。

選択情報格納部4は、利用者が指定した非表示にしたい行・列情報を格納する領域である。

列を除いて画面上に表示した所望のリストである。

選択非表示処理部3は、元リスト1から非表示と指定した行および列を除いたリストをバッファに書き込んで表示させるものである。

選択情報格納部4は、画面上の元リスト1のうちの非表示に指定した行および列情報を格納する領域である。

〔作用〕

本発明は、第1図に示すように、データベースから元リスト1を読み出して画面上に表示し、非表示にしたい行および列を指定(選択)した行・列情報を選択情報格納部4に格納し、選択非表示処理部3が選択情報格納部4から読み出した非表示の行・列情報をもとに、元リスト1のうちの該当する行および列を除いた後の実行後リスト2をバッファに書き込み、所望のリストを抜粋する態様で表示するようにしている。

従って、元リスト1から非表示の行・列を指定することにより、自動的にこれらを除いたリスト

次に、第2図フローチャートに示す順序に従い、第3図を用い、第1図構成の動作を詳細に説明する。

第2図において、①は、元になるリストで行／列の非表示部分を選択する。これは、例えば第3図(イ)元リスト1のうち、非表示にしたい行(＃3ないし＃5、＃8ないし＃29、＃31ないし＃33)、および列(BないしL)をマウスを用いてクリックして指定することを意味している。

②は、非表示情報と読み込まれた列と一致するか否かを判別する。これは、例えば第3図(イ)読み込まれた元リスト1の列A、B、C・・・について、①で非表示指定された列に一致するか否かを全て比較することを意味している。YESの場合(一致する場合)には、非表示にし、②を繰り返す。一方、NOの場合(一致しない場合)には、更に、③を実行する。

④は、非表示情報内に行が指定されているか否かを判別する。YESの場合(②NOで列が非表

示と指定されていないが、更に行の非表示指定によって行が非表示と指定されていた場合には、⑤で非表示部分の行を除いた列をバッファに書き込み、⑥を実行する。一方、NOの場合には、④で一行を全て書き込み、⑥を実行する。

⑥は、全ての列が読み込まれたか否かを判別する。YESの場合には、終了する。NOの場合には、次の列について②以降を繰り返し実行する。

以上の処理によって、①で元リスト1中から非表示と指定した列および行を除いたリストがバッファに書き込まれ、画面上に所望のリストを抜粋する態様で表示する機能を提供することが可能となる。

第3図は、本発明に係わるリスト例を示す。

第3図(イ)は、元リスト例を示す。これは、1画面上に表示しきれないデータベースから読み込まれた大きなリストである。

第3図(ロ)は、実行後リスト例を示す。これは、第3図(イ)に示す画面上に表示しきれない大きな元リスト1から、選択情報(非表示指定し

た行および列情報)をもとに作成されたいわゆる抜粋したリストである。

次に、第4図を用いて本発明の全体の動作を簡単に説明する。

第4図において、①は、元になるリストを対象としてリスト処理を起動する。

②は、元リスト1をデータベースから読み込んで一部分をスクロールする態様で画面上に表示する。

③は、非表示にしたい行/列を指定して“画面非表示”の機能を起動する。

④は、非表示情報に従った画面の書き換えを行う。これは、元リスト1から、非表示情報を参照して指定位置を非表示にしたリストを作成し、画面を書き換えることを意味している。そして、この画面からデータの更新などを行うようにしている。

(発明の効果)

以上説明したように、本発明によれば、画面上

に納まりきらない大きな元リスト1から非表示の行・列を指定して表示したい部分のみを抜粋する態様で表示する構成を採用しているため、画面上に納まりきらない大きなデータを持つリストについて、所望の部分のみを表示させて容易に更新(変更・修正)などすることができる。これにより、従来のように別リストを生成して更新する必要がなく、より簡単にデータの必要部のみを参照して更新などを行うことが可能となる。

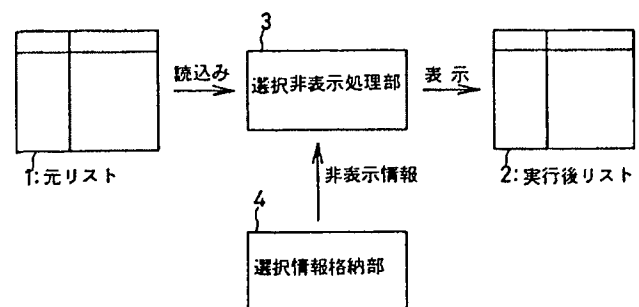
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の1実施例構成図、第2図は本発明の動作説明フローチャート、第3図は本発明に係わるリスト例、第4図は本発明の全体動作説明フローチャートを示す。

図中、1は元リスト、2は実行後リスト、3は選択非表示処理部、4は選択情報格納部を表す。

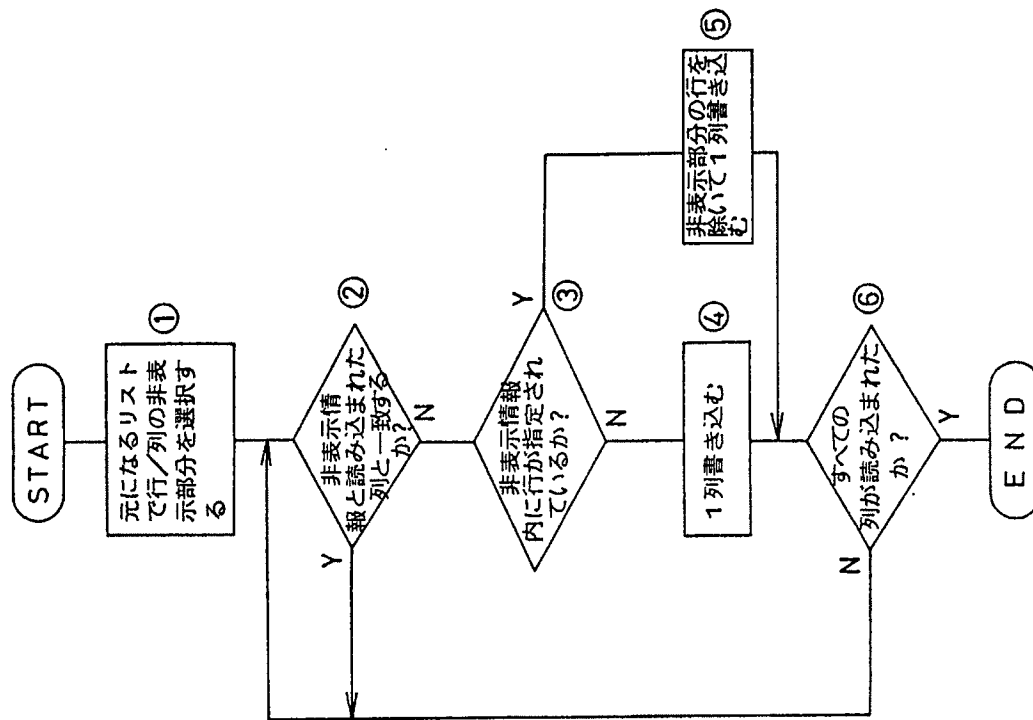
特許出願人 富士通株式会社

代理人弁理士 岡田 守弘



本発明の1実施例構成図

第 1 図



本発明の動作説明フローチャート

第 2 図

	列	列	列			
	A	B	C		M	N
	氏 名	住 所	〒		出 身 地	年 齢
行 → 1	柴山 仁至	川崎市宮前区	213		静岡県静岡市	25
2	藤橋龍一郎	平塚市	254		東京都太田区	24
3	佐々木 徹	横浜市鶴見区	230		秋田県秋田市	21
4	山崎 元晴	横浜市緑区	227		東京都品川区	23
5	石山 準	横浜市鶴見区	230		新潟県新潟市	19
6	宮崎 勝典	横浜市鶴見区	230		福島県原町市	19
7	山本 金誠	横浜市鶴見区	230		秋田県男鹿市	21
30	上村真理子	川崎市多摩区	214		青森県八戸市	22
31	関根恵美子	川崎市幸区	211		茨城県土浦市	20
32	佐藤 友子	東京都目黒区	152		栃木県足利市	21
33	土佐 武美	横浜市鶴見区	230		青森県大畑町	18
34	小林 秀年	横浜市鶴見区	230		静岡県富士市	19
35	酒井 正充	横浜市鶴見区	230		新潟県新潟市	18
36	渡辺 清志	横浜市鶴見区	230		新潟県新津市	19

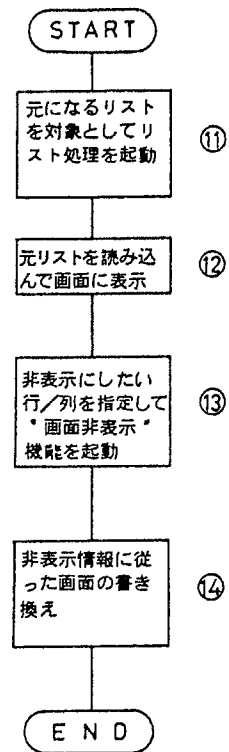
元リスト例  
(イ)

	A	M	N
	氏 名	出身地	年 齢
1	柴山 仁至	静岡県静岡市	25
2	藤橋龍一郎	東京都太田区	24
6	宮崎 勝典	福島県原町市	19
7	山本 金誠	秋田県男鹿市	21
30	上村真理子	青森県八戸市	22
34	小林 秀年	静岡県富士市	19
35	酒井 正充	新潟県新潟市	18

実行後リスト例  
(ロ)

本発明に係るリスト例

第 3 図



本発明の全体動作説明フローチャート

第 4 図